

コメントテンプレート

日付: 2025-05-28	規格番号: C61757-2-2	プロジェクト:
----------------	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	45	1		ed	DTS の full English term がない。	Distributed temperature sensor; DTS とする。	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 2	90	3.1		ed	(片道損失) の意味が不明。括弧は省略しても意味が通じるように用いる。	DTS シス テムが許容する片道の全累積光損失とする。	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 3	91	3.1	注釈 1	ed	「のような」は不適切な表現。	「光ファイバのキンク，減衰器などの構成要素」に修正する。	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 3	96	3.2		ed	90 行で “DTS システム”、96 行で “DTS 機器” の用語がある。	意味が同一であれば用語を統一する。	“機器” と “システム” は使い分けています。 “機器” には DTS 装置本体を、“システム” には接続されるファイバや評価系も含まれます。 このままをお願いします。
渋谷 隆 4	104	3.3		ed	定義に極力、括弧は用いない。	括弧を注記に移動する。	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 5	115	3.5		ed	誤記か？	“光ファイバセンサの温度を一定に保持した上で” に修正する。	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 6	120 他多数 562	3.6 B.3		ed	極力日本語を用いる。 562 行に恒温槽の表現がある。	温度チャンバーを温度試験槽に変更する。	修正案のとおり、“温度チャンバー” を “温度試験槽” に変更します。
石井 1	127			ge	「Z m」は 198 行「全光ファイバ長，Z」と同じでしょうか？		はい、同じです。 Zm という記号ではなく Z メートルになります。
渋谷 隆 7	175	3.15		ed	“中心化単純移動平均” とは何か？	計算方法を、JIS 独自で注釈などに記載する。	次の説明を注釈に追加します。 注釈 中心化単純移動平均は、地点 x_i を中心にして移

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							動平均を計算する。例えば、5 点の単純移動平均を計算する場合は x_{t-2} , x_{t-1} , x_t , x_{t+1} 及び x_{t+2} の平均値を計算する。
渋谷 隆 8	179	3.15		ed	“平滑化”とはより粗い分解能で曲線近似とする意味か？	誤解を避ける表現とする。	移動平均が Smoothing （平滑化）の代表的な方法であるが、他の平滑化処理を使用可能なことを意味しています。 下記に変更します。 “実際の適用では、移動平均に代替される平滑化方法が適用可能であるかもしれない”
渋谷 隆 9	227 他	4.1 他		ed	極力日本語を用いる “モデル” 532 行表 A.1 では、光ファイバ型番の表現がある。	“型名”又は“型番”に変更する。	“型番”に統一します。
渋谷 隆 10	243	4.1		ed	“一般の試験系は、概略図だけを提供することに留意しなければならない。”	この一文に続く記載は事例を説明しているため、この一文が要求事項表現であることに違和感がある。この段落は、試験形態の許容を示しているため、この段落の記載順序を入れ替えるのが良い。	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 11	246	4.1		ed	極力日本語を用いる “ダブルチャンバー”	“二層式試験槽”に変更する。	“ダブルチャンバー”を“二層式試験槽”に変更します。また、“チャンバー”も“試験槽”に変更します。図 2 中及び図 3 中も同様。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-28	規格番号: C61757-2-2	プロジェクト:
----------------	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 12	248 250	4.1		ed	“要求される”	“小さくなければならない” “校正しなければならない” に修正する。	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 13	254 551	4.1 B.2		ed	“被試験機器（DTS）” “の意味があいまい。 DTS システム、DTS 機器との違いが不明。 DTS だと光ファイバセンサ、センサする部位を示すと考えられ、光源、受光器などを含まないと考えられる。 551 行に“被試験 DTS” の用語がある。	適切な表現に修正する。	“被試験機器（DTS）” を “被試験 DTS 機器”に変更します。
渋谷 隆 14	255 256	4.2		ed	“べき” は JIS では用いない。JIS Z 8301、JIS 原案作成のための手引気参照。	“推奨条件” などの表現に修正する。	名詞を修飾している「すべき」なので、用いることができます。このままお願いします。[Z8301 表 4 の注 a)]
渋谷 隆 15	257～ 273	4.2		ed	リスト数が 16 件と多い。	a), b)にする。外部から参照する場合に容易なため。	修正案のとおり、a)～p)に変更します。
渋谷 隆 16	260	4.2		ed	“又は” を連続して用いない。 (A or B) or C の場合、A 若しくは B 又は C とする。	“シングルエンド構成若しくはループ構成、又は同じハードウェアを使用する” に修正する。	修正案のとおりに修正します。
渋谷 隆 17	261	4.2		ed	JIS では極力、受動態を使わない。 ” 試験された” “出射された”	能動態に修正する。	” 試験された” は“被試験” に、“算出された” は“算出した”に変更します。
渋谷 隆 18	291	5.1.1	注記	ed	“可能である” は、許容ではないか？ “用いても良い” 許容の場合、注記に記載することができないため、本文にする必要がある。	対応国際規格を再確認し、必要があれば、適切に修正する。	対応国際規格では、“can be used” とありますので、“可能である”（可能性・能力事項）のままいたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 19	296	5.1.2		ed	“51 点” を測定する手順が記載されていない。	5.3 など、51 点を測定する手順の記載の箇条を参照する。	“51 点（5.3 参照）” に変更します。
山田 1	311 314	5.1.2	図 5 図 6	ed	図中の A、S、Tref、E、AE は変数でしたらイタリックに変更。	A、S、Tref、E、AE → A、S、Tref、E、AE	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 20	321 532	5.2.1 A	表 A.1	ed	” 光ファイバセグメント” 図 2、図 3 及び図 7 では、光ファイバ長と記載されている。 表 A.1 ではコイル長の記載。	光ファイバセグメント、光ファイバ長又はコイル長に統一する。	“光ファイバセグメント” は“光ファイバ長のセグメント” に、“光ファイバセグメント A” は“光ファイバ長 A のセグメント” に変更します（B、C 及び D も同様）。 また、図 7 の“光ファイバコイル長” 及び表 A.1 の“コイル長” は“光ファイバ長” に変更します。
渋谷 隆 21	453	5.6.1		ed	“これらのパラメータの要求値を満たすか、 超えた場合”	“これらのパラメータの要求値を満たす又は超えた場合” に修正する。	修正案のとおりに変更します。
石井 2	470			ge	「図 12ーウォームアップ時間の計算例」 原本に従っているのかもしれませんが、キャプションに違和感がありました。	図自体のキャプションですので、「図 12ーウォームアップ時間の計算に用いる諸特性」とかではないでしょうか。	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 22	499	5.7.1		ed	“累積光ファイバ”	“累積光ファイバ損失” 又は“累積光損失” に修正する。	“累積光ファイバ損失” に変更します。
渋谷 隆 23	561 568	B.3		ge	“それぞれの光ファイバ長は、最低 1 km でなければならない。” 附属書 B は参考だが、要求事項が記載されている。	測定結果の事例ならば、そのように測定した、と引用表現にする。 “最低 1 km” を“1 km 以上” に修正する。	・ “最低 1 km” を“1 km 以上” に変更します。 ・ 対応国際規格どおりに記載しています。ご指摘のと

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-28	規格番号: C61757-2-2	プロジェクト:
----------------	-------------------------	---------

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					長さは高い低いで表現しない。		おり附属書 B は「参考」なので、その内容に要求事項等が記載されていても、取扱いは参考となります。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-30	規格番号: C5201-8	プロジェクト:
----------------	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	158	3.1.1		ed	“円筒形の構成部品本体の縦軸に沿って両側に金属製端子をもつように設計した部品” 部品ではなく抵抗器ではないか。 設計したかどうかは設計者にしかわからない。	“円筒形の構成部品本体の縦軸に沿って両側に金属製端子をもつ抵抗器”に変更する。	コメントありがとうございます。 修正案に賛成いたします。
渋谷 隆 2	166	3.1.3		ed	“長方形の抵抗器本体で短辺方向の軸に沿って両側に金属製端子をもつように設計した部品” 部品ではなく抵抗器ではないか。 設計したかどうかは設計者にしかわからない。	“長方形の短辺方向の軸に沿って両側に金属製端子をもつ抵抗器”に変更する。	コメントありがとうございます。 修正案に賛成いたします。
渋谷 隆 3	172	3.1.5		ed	“長方形の抵抗器本体の長辺方向に沿って両側に金属製端子をもつように設計した部品” 部品ではなく抵抗器ではないか。 設計したかどうかは設計者にしかわからない	“長方形の長辺方向に沿って両側に金属製端子をもつ抵抗器”に変更する。	コメントありがとうございます。 修正案に賛成いたします。
渋谷 隆 4	175	3.1.6		ed	“部品本体の内部に巻線素子を用いるように設計した部品で、その物理的設計は要求規格に応じて変化する可能性がある部品” 部品ではなく抵抗器ではないか。 設計したかどうかは設計者にしかわからない。 “物理的設計は要求規格に応じて変化する可能性がある”は定義ではない。	“本体内部に巻線素子がある抵抗器” “注釈 1 物理的設計は要求規格に応じて変わる可能性がある。” に変更する。	コメントありがとうございます。 修正案に賛成いたします。
山田 1	238 239 279 982 984-986 1192 1286	4.3 4.3 4.6 9.11 9.11 E.4 F.3.1	図 5 表 12 表 13 表 E.3 図 F.3	ed	LCT, UCT が変数でしたらイタリックに変更。	LCT, UCT → <i>LCT, UCT</i>	コメントいただきありがとうございます。 仰るとおり、 LCT 、 UCT は変数となりますので斜体へ変更いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-30	規格番号: C5201-8	プロジェクト:
----------------	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 5	403 428	5.3.6 5.3.8		ed	“（例えば、周囲温度 15℃～35℃）” C5201-1:2021 には温度のほか、湿度、気圧の規定がある。	“（例えば、周囲温度 15℃～35℃）” を削除する。又は、例えばではなく、温度、湿度及び気圧を記載する。	コメントありがとうございます。全てを記載するのが望ましいかもしれませんが、一例としてここでは使用者が見て一般的な環境下であることがわかればよいと思いますのでこのままです。対応国際規格どおりになります。
山田 2	727	6.3	表 11	ed	TCR が変数でしたらイタリックに変更。	TCR → <i>TCR</i>	コメントいただきありがとうございます。TCR は係数になるため、そのまま立体で記載にしたいと考えております。
山田 3	732	6.4		ed	MET が変数でしたらイタリックに変更。	MET → <i>MET</i>	コメントいただきありがとうございます。仰るとおり、 MET は変数となりますので斜体へ変更いたします。
石井 1	p.52 999			ge	Δ R/R 試験前の測定値に対する抵抗値変化	「試験前の測定値に対する抵抗値変化率」の方がいいかと思いますがどうでしょうか。	コメントありがとうございます。修正案に賛成いたします。
渋谷 隆 6	1043 1075	C.2 C.5		ed	附属書 C は参考だが、要求事項がある。	附属書 C を規定にする又は要求事項の表現を変更する。	コメントありがとうございます。ご指摘の文章は、対応国際規格どおりで shall 文になります。 附属書 C に規定文があっても、この規格では附属書 C を参考扱いにしています。 附属書 C は、組立に関する Workmanship で、部品そのものを規定しているのでは

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-30	規格番号: C5201-8	プロジェクト:
----------------	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							なく基板への取付けに於ける仕上がり状態を示していることから、附属書 C は参考でよいと考えます。又、表現も、同様に仕上がり状態を示しているので、参考でお願い致します。
諏訪 1	1286	F.3.1	図 F.3	Ed	この図は、端子部温度における電力の負荷軽減曲線を表しているが、図と記号とに間違いがある。	図中の横軸の周囲温度を端子部温度に修正する。 記号説明において以下を修正 <i>P</i> : 印加電圧を印加電力に修正する。	修正案に賛成いたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	138	3		ge	“この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS C 5260-1:2014 による。” C5260-1:2014 の 2.2 には、この規格で用いる主 な用語及び定義とあり、C5260-1 が C5260 規格 群の用語規格としての位置づけになっていると読 めない。	“この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS C 5260-1:2014 , 2.2 による。”に変更する。	Z8301 の 16.5.3 の b)の定 型文どおりなのでこのまま でお願いいたします。
					了解しました。 今後、C5260-1 を用語規格とできるように「この 規格で用いる」から「C5260 規格群で用いる」 に変更することを検討願います。		C5260-1:2014 の用語及び 定義が箇条 3 ではなく 2.2 なので、ユーザーに親切的な 表現ということで、 “この規格で用いる主な用 語及び定義は、JIS C 5260- 1:2014 , 2.2 による。” を採用致します。
渋谷 隆 2	149	4.2.2		ed	“必要がある” 要求事項であれば明確に規定する。	“なければならない”に変更する。	“なければならない”に変 更いたします
山田 1	151-153 458	4.2.2 附属書 A	図 1	ed	A,B,C,D,E,E,G,H,J,K,L,M,P,Td,Tl,Tt,Tw が変数で したらイタリックに変更。	A,B,C,D,E,E,G,H,J,K,L,M,P,Td,Tl,Tt,Tw → A,B,C,D,E,E,G,H,J,K,L,M,P,Td,Tl,Tt,Tw	変数ですのでイタリックに 変更いたします
渋谷 隆 3	153	4.2.2	図 1	ed	記号説明で示す寸法は量記号である。	斜字に変更する。	斜字に変更いたします
渋谷 隆 4	155	4.2.2		ed	“操作軸及び取付部の寸法。これらは、外形図又 は JIS C 5270 引用の、いずれかで示してもよ い。”	“操作軸及び取付部の寸法：外形図又は JIS C 5270 引用の、いずれかで示してもよい。”に変 更する。	ご提案通り、“操作軸及び 取付部の寸法：外形図又は JIS C 5270 引用の、いづれ かで示してもよい。”に変 更いたします。
藤井 1	188		図 2	ed	縦軸の単位が示されていない	「%」を挿入する	「%」を挿入いたします

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
藤井 2	195		図 3	Ed	縦軸の単位が示されていない	「%」を挿入する	「%」を挿入いたします
渋谷 隆 5	236	5.6		te	ピーク加速度が違ってても作用時間は同じで良いか。JIS C 60068-2-27 表 1 では、300 m/s ² の場合、18 ms が推奨されている。	300 m/s ² の作用時間を 18 ms に変更する。	300m/S ² を削除いたします。 JIS C 60068-2-27 の表 A.1 によると 300m/S ² と 18ms の組み合わせは機器向けのみであり部品向けではないようです。そうなると部品向けの本規格において、300m/S ² の記載が不必要と考えられるため、対応国際規格の改訂時に修正提案いたします。
					300 m/s ² を削除すると対応国際規格と MOD になるため、MOD として作成し直してください、対応国際規格との対比表を作成する必要があります。		IDT は最優先なので、今回は対応国際規格通りで、このまま変更なしといたします。 いただいたコメントや他エキスパートの意見も聞いたうえで、正しい状態が何か TC40WG41 で議論し、次回の対応国際規格改訂時に再検討いたします。
					IDT が最優先であるとの考え方は許したくありません。MOD にすると再度パブリックコメントを行う必要がありますが、技術的に間違いであるならば、そのとおり行うべきです。 間に合うのであれば、対応国際規格の PL 及び Convenor に明らかな間違いであることを確認し、その旨を注記で記載する方法もあります。		対応国際規格通りとし、ご提案通り、解説に次の説明を追加致します。 衝撃(5.6) JIS C 60068-2-27 の衝撃試験条件に従えば、ピーク加速度 300 m/s ² では、作用時間は 18ms だが、対応国際規

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-30	規格番号: C5260-3	プロジェクト:
----------------	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					通常の衝撃試験装置であれば、300 m/s ² では、IEC 60068-2-27 に従った印加時間しか設定できないはずなので、知見がある技術者（工業試験場の担当者など）であれば間違えることはない、また、500 m/s ² の条件で行うでしょうから、問題が起きないと思います。との理由でそのままであることを了解します。解説にその旨を記載してください。		格には、作用時間 18ms が記載されていない。 編集上の記載漏れだと推測されるが、次回の対応国際規格の改訂時に修正提案を行う予定である。ピーク加速度 500 m/s ² 、作用時間 11 ms の条件は、正しいので問題ない。
石井 1	p.28 458			ge	Δ R/R 試験前の測定値に対する抵抗値変化	「試験前の測定値に対する抵抗値変化率」の方がいいかと思いますがどうでしょうか。	ご提案通り、「試験前の測定値に対する抵抗値変化率」に変更いたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-30	規格番号: C5402-23-3	プロジェクト:
----------------	-------------------------	---------

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	148～ 158 164	5	 2	ed	装置構成と図 2 の装置の名称とが合わない。	装置構成と図 2 の装置の名称を合わせる。	全て「ネットワークアナライザ」に名称統一致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	172	6	表 5 耐衝撃性	te	供試品の質量によって印加する加速度が異なるが、衝撃印加時間が共通して 1 ms である。JIS C 61300-2-9: 2012 の表 1 ではそのように規定しているが、JIS C 60068-2-27: 2011 では、衝撃加速度によって印加時間が異なっている。	対応国際規格 IEC 61300-2-9 の間違いを、国内委員から指摘し、正誤表又は追補改正を行う。	ご指摘の内容は対応国際規格の誤記と思われます。 国内委員から AMD1 Ed3 の提案を行い、2025 年 5 月時点で CDV 化が合意されました。 対応国際規格の AMD が発行された後、この JIS の追補改正を行う予定です。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	108 109 115	3		ed	真空中の光速、電子の電荷及びプランク定数は固有値のため斜字ではない。	立字態に変更する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 2	162	4		ed	図 1 は例である。	“測定系の構成例を，図 1 に示す。” に変更する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 3	167 172 245 361	4 a) 1) 6.1 6.5		ed	“勧める” JIS 原案作成のための手引きで用いられている表現として“推奨する”がある。	“推奨する”に変更。	案のとおりに変更します。 行番号 215, 268, 306 も同様に 変更します。
渋谷 隆 4	169	4 a) 1)		ed	“直接変調を用いる，又は外部変調を用いることが可能である。”	“直接変調レーザ又は外部変調光源レーザのいずれを用いても良い。”に変更する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 5	175 237 246 247	4 a) 1) 5 6 6		ed	“多重光路干渉”の略語 MPI が規定されている。	記号説明を除き、初出時は、“多重光路干渉（MPI）”、2 回目以降は MPI に変更する	案のとおりに変更します。 行番号 216, 344, 347, 402 も同様に 変更します。
渋谷 隆 6	184	4 a) 2)		ed	“これによって，外部からの反射は，レーザスペクトル及びレーザ 相対強度雑音に影響を与えない。光学的アイソレーションは，60 dB (*)超でなければならない。アイソレータの出力ポートにおける反射率は，－50 dB (*)未満でなければならない。” 意味を変えずに、要求事項を先に記載するほうが良い。	“光学的アイソレーションは，60 dB (*)超でなければならない。光アイソレータの出力ポートにおける反射率は，－50 dB (*)未満でなければならない。これによって，外部からの反射は，レーザスペクトル及びレーザ 相対強度雑音に影響を与えないことが可能である。”に修正する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 7	184	4 a) 2)		ed	図 1 は内臓光アイソレータの場合を示している。	注記として図 1 は内臓光アイソレータの場合を示している。を追加する。点線下線付与。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 8	191 241	4 a) 3) 6.1		ed	“電気スペクトラムアナライザ”の略語 ESA が規定されている。	記号説明を除き、初出時は、電気スペクトラムアナライザ（ESA）、2 回目以降は ESA に変更する。	案のとおりに変更します。 行番号 273, 288, 291, 436 も同様に 変更します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-29	規格番号: C6122-3-2	プロジェクト:
----------------	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 9	194	4 a) 4)		ed	“未満のもの。” “もの” で止めない。	“未満とする。” に変更する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 10	199 203	4 c)		ed	4 a), 4 d)では、1), 2) を用いている。	1), 2)に変更する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 11	222	4 e)		ed	“もの。” で止めない。	“近くする。” に変更する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 12	223	4 f)		ed	“接続損失の再現性が±0.1 dB よりもよいもの。” の表現が定性的。	“よりもよいもの” を“より小さくしなければなら ない”に変更。	案のとおりに変更します。 「なければならぬ」に点 線下線を付与します。
渋谷 隆 13	225	4 f)		ed	“融着接続を用いることも可能である” 許容の意味に思える。	“融着接続を用いても良い” に変更する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 14	229	4 g)		ed	“最大偏波依存変動幅” では不十分。	“光損失の最大偏波依存変動幅” に変更する。	案のとおりに変更します。 「光損失の」に点線下線を 付与します。
渋谷 隆 15	241	6.1		ed	“ワット”	“ワット (W)” に変更する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 16	269	6.2 e)		ed	“パワーメータ “	“光パワーメータ” に変更する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 17	270	6.2 f)		ed	“相対変調振幅”	“相対変調振幅 (<i>m</i>)” に変更する。	案のとおりに変更します。
渋谷 隆 18	363～ 366	7		ed	ぶら下がり段落	IDT とするためにぶら下がり段落を維持したことを注記で記載する、又は解説に記載する。	対応国際規格では規定事項 を含む note として記載さ れており、本文に移したた めぶら下がり段落になって

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-29	規格番号: C6122-3-2	プロジェクト:
----------------	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							います。そこで、JIS 原案作成のための手引き及び JIS Z 8301 の 36.4 を参考に、細分箇条” 7.0A 一般”を追記して、ぶら下がりが段落を回避します。また、解説にもその旨を記載します。
渋谷隆 19	366	7		ed	“IEC/TR 61292-2”	“IEC TR 61292-2”に変更する。	案のとおりに変更します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-30	規格番号: C6122-4-1	プロジェクト:
----------------	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	117 134 140 149 155	3.1.5 3.1.8 3.1.9 3.1.10 3.1.11	注釈 1 注釈 2 注釈 1 注釈 1 注釈 1	ed	“利得オフセットは、dB で表される。”	“利得オフセットは、デシベル（dB）単位 で表される。” に変更する。 “デシベル（dB）単位で” に変更する。	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 2	179	4		ed	“光増幅器” の略語として OFA が記載されている。 この規格は OFA が対象である。	3.2 略語よりあとに初出する光増幅器を光ファイバ増幅器（OFA）とし、第 2 回目以降は OFA とする。	修正案のとおりに変更します。
渋谷 隆 3	188	4	図 1	ed	注記 1 に推奨事項が含まれている。	注に変更する。	IDT を保ち、同様な意味を持たせるため、注記 1 を「OFA への入力光パワーの単位は、ミリワット（mW）を用いている。」とします。
山田 1	292	附属書 A	図 A.1	ed	図中の Pin, Pp, Pout の説明は必要ないでしょうか？ また変数でしたらイタリックに変更。	図中に Pin, Pp, Pout の説明を追記。 また Pin, Pp, Pout は記号と考えると、イタリックにしなくても良いのではないかと考える。	図中に記号説明として次を記載します。 記号説明 Pin : 入力光パワー Pout: 出力光パワー Pp : 励起光パワー 記号であり、量記号でない ので立字のままとします。 Pin の記載位置については、修正した Pout, Pp と 同じ高さにそろえて記載 します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-05-30	規格番号: C6122-4-1	プロジェクト:
----------------	------------------------	---------

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 2	299	附属書 A		ed	FWHM が変数でしたらイタリックに修正。	FWHM→ <i>FWHM</i>	数式などで引用されていないため、量記号ではなく立字のままとします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。